

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]	
1	80代以上	病院通い等、交通費に使っています。 金額は下げることないようお願いします。 物価高等の折、大変助かっています！	15年前生駒市に転居して、この制度があることを知り、大変うれしかったです。是非、この制度の継続をしていただきたいと願っています。		80歳を過ぎると身よりがあるなしにかかわらず、病気のこと(健康)、死後のこと等切実です。安心して暮らせる生駒市の施策を望みます。
2	80代以上	年金生活 物価高医療関係も上る見込み 出来れば今迄通りが希望です。			
3	70代	生駒は坂が多く、買い物をし重たい物を持ち帰るのはキツク、タクシーにも使いたいと思っています。大半が交通費に消えています。 物価高騰で生活が苦しく成っています。この上クーポン券直して支給が下がれば出かける機会も少なくなり、体にも影響が出ると思います。いまのままで！！			
4	70代	現状通り、1万円で実施を続行してほしい。使用目的を交通系、温泉補助、駐車場券補助は続行してほしい。高齢者は低く下っている年金しか収入がない。介護保険料、社会保険税も上っている。けっこうきびしい生活をしている人も多い。市全体として1億円のお金を削減して他に回すような政策は撤回して下さい。 坂が多く住みにくい町になっています。せめて1万円補助で交通助成などに役立てていきたい。			
5	80代以上	・見直し案7,000円は了解できない。 ・最低10,000円は必要。	生きいきクーポン券は定着してきている。	・物価上昇のため。 ・年金の引き下げがひどい。	
6	70代	この物価高の時代に減額とは薄情な市長ですね。経費の4000万円の為に減額？もつといろいろ工夫されたいかがですか？ 例えば奈良市のバスの助成のように70歳になったら1回100円で奈良市内からの乗降ができます。70歳になれば市からバスカードが送られてきます。そのカードで奈良交通の窓口等でチャージすると100円で乗れるそうです。ICOCAのように交通以外には利用できませんがバスを利用して外出するのは健康を維持する為にも良いのでは。今は利用しなくても免許返納の後は利用すると思います。また超高齢になったら出かけなくなると思います。そういう方はバスに乗りたくても乗れません。以外と経費がかからないのではないのでしょうか？ とりあえず私は10000円の現状維持か、物価高なので増額でお願いします。	評価できません		本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。
7	70代	年寄は年1回の生きいきクーポンがくるのを楽しみに待っています。私も70歳になったらクーポンが届くと楽しみにしていました。しかし2年毎にもらえる年齢が上がりやっと貰えとおもったら減額、ガッカリです。数千万円の経費削減の為に年寄りの楽しみが減額されるのなら、何もしていない市議会議員を10名程度に減らせばいいのでは。子供には手厚い手当があるのに、僅かな年金で生活している年寄りには厳しい仕打ち。物価高、身寄りのないひとり暮らしのせめてもの楽しみを奪うなんてなんと冷たい市長なんでしょう。何の楽しみもない年寄りのせめてもの楽しみを奪わないで下さいあ	評価出来る点なんてありません。	今迄どおりの最低1万円。出来れば他市のように70歳になったら支給すべきだと思います。	100歳体操、モルック、サロン等いろいろ参加しています。誰の為でもなく自分の為に。その為に生きいきクーポンが必要です。
8	80代以上	10,000円のクーポンで年に4回タクシーに乗れます。通院の帰り、この夏の暑さ、生駒市の坂道を上ぼって帰るのは本当に苦痛です。せめてこの4回だけは続けて欲しい。市の優しい補助をして下さい。7000円にしないで下さい。	つらい歩行を助けてもらっているので(通院の帰り道)このまま続けて欲しい。		
9	80代以上	・現状通り1万円で実施を続けて下さい。 ・駅の階段で足を痛め、歩けなくなり外出ができなくなりました。 ・通院(内科毎月、眼科2ヶ月、歯科3ヶ月)はタクシーを利用しています。家から往復すると1回につき3600円要ります。年金収入で生活していますので、タクシー代は大変ですが体のために通院は欠かすことができません。 ・「生き生きクーポン券」は実施を続けて、金額を下げないで下さい。			
10	70代	必要経費が削減されるのは良い。額は1万円を続けてほしい。バス・電車賃は値上がりをしているのだから。	・事業費削減 ・交通助成一本のクーポンの主旨にそったので良い。		

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
11	50代	今までは高齢者ばかり優遇して、そのお金を子育て世代にするべきだ！と思っていました。 しかし、様々なものが高騰し続ける世の中あまりにも多くの方々がいきづらくなっています。 私は職業柄医療関係の仕事をしています。様々な問題を抱えた高齢にの方々にお会いすることが多々あり、高齢者は外に出る必要があると思います。 フレイルや認知症を防ぐだけでなく、老々介護をしているかたの少しのお出かけがどれだけ気持ちのリフレッシュになることか、また家にずっととじ込めっていると鬱になりがちなので、日の光を浴び、お出かけをすることで世間と繋がりを少しでももてるのではないかと思います。 これらの方々はもしかしたらケアマネさんやヘルパーさんが入っているからと市の方々は安心しているのかもしれませんが、そこにはその方々が関わることでお金が発生しています。そのお金がかかって、生きていくために食費も光熱費も高い、だからもうこれ以上お金は使えない、バスやタクシーとかお金のかかる公共機関を使えない。。。だから週に何回も出掛けるなんてとんでもない！という負のループになるかもしれません。 予算で理想的に削除して、それらを他に回すという話は本当に素晴らしい案だとは思いましたが、高騰する世の中に反して減らされることは高齢者の方々には前向きな気持ちになれないと思います。 また、今後増える高齢者の医療費(介護費)の増加などを考えると少しでも元気で前向きな高齢者が増えることを願い、私は現行のままを望みます。				本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。
12	60代	1万円を7000円に減額というのは大いに問題だ。アンケートでは、70代以上68.1%の継続希望があるのだ。需要は多いと言うことから、少なくとも現状維持でいくべきだ。費用は、今のイベント主義の市政財政を市民の切実な需要・要望第一に変えることだ。生活の困難な市民の声なき声を聞く努力をすべきである。(クーポン方式の事務費がかかるというのはわかるが・・・) また、障がい者・高齢者の生活需要(exオムツ等)も必要かつ欠くことのできない要望だ。そういう声をあげにくい弱者の声を聞くべきだ。 自治会へのデジタルツール活用が認められなかったように、国からの企画ではなく、困難を抱える市民の声を聞く努力をしんどいが、徹底してすべきである。	広く市民の声をきいてください。		なにかと大変ですが、声なき声をきくために よろしく願いいたします。	
13	70代	支給方法は、良いが、最低10,000は減額せず実施				
14	70代	現状維持で良いです。削減される予算で他の事業を立ち上げるとの事です が事務費もかかり削減される予算より増加する方が多いと思います。	特にありません。	何故高齢者の予算を削減されるのでしょうか。市税もふるさと納税も増えていると思います。		
15	70代	却下	隣接自治体と同様のサービスは必要である			
16	80代以上	金額を元の1万5千円にしていきたい。外出する時はバスを利用することが多く、近鉄電車も利用します。7,000円ではすぐに無くなってしまい、自由に外出することがむづかしくなります。せめて1万円のままだきたいのでよろしくお願いします。	金額が減ったので評価できません。		1人暮らしの方に自宅に非常用電話器を取りつけてほしい。	本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 65歳以上の高齢者や身体障がい者の一人暮らし等の方で、緊急性の高い疾患があり、加療中の方向けに緊急通報装置を貸与し、利用者に緊急事態が発生した時にあらかじめ組織された地域支援体制により迅速な対応を行う事業を行っています。

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
17	70代	諸物価が上がっています。電車・バス・タクシー代も上がりました。その中でのクーポン券が切り下げる事はやめて下さい。	経費の削減は評価出来る。	介護保険事業から出される事業も交通助成事業から出すと事業の性質があいまいに成ってしまいます。		本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。
18	不明	生きいきクーポン券ぜひ継続して下さい。 何もかも異常な物価高の時に、高齢者のささやかな楽しみを減らさないで下さい。 よろしくお願いします。	配布にかかる経費を見直されたことは、とてもいいことだと思います。	その他の支援施策で上げておられる3本の柱。支給を減して浮いた1億円を当てるのではなく、3つとも高齢者にとても大切なことですからしっかり予算をとって実地していただきたいです。	これから高齢者の施策にいろいろお世話になると思いますが、支えて下さる人材不足で先がとても不安です。	今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。
19	80代以上	・金額を10,000円に据置いて下さい。 ・足が悪く杖つき歩行です。電車に乗るのが困難でタクシーを利用します。タクシー料金も上がり7,000円では往復2回しか乗れません。高齢者を外へ出さないのはますますのフレイル化となります。	事業費の経費が削減されたことは評価できます。	介護保険の事業のものから交通費助成は出さないで下さい。交通費助成にのみ出してください。		「生きいきクーポン券交付事業」は高齢者の生きがいづくり支援、社会参加の促進及び要介護者の福祉の増進を図ることを目的としています。今回の代替案の3つの施策は、本事業の目的に直接資するものだと考えており、より高齢者の生きがい、社会参加の促進につなげたいと考えています。
20	70代	私はこのクーポン券を毎年、病院通いや、生駒から大阪市、奈良駅に行く用事のための交通費にあててきて年度途中でなくなってしまう程です。これがまた削減されると聞き、高齢になる私たちが痛む脚など抱えながら、元気で出かけられる保障のひとつです。見直し案の「認知症・・・」「介護予防・・・」などには一般会計からでもできるので「生き生き活動」できる予算は十分守って下さい。			最近訪問リハを受け、助かっていますが、誰でも気軽に受けられるシステムがあればよいと思います。	本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 「生きいきクーポン券交付事業」は高齢者の生きがいづくり支援、社会参加の促進及び要介護者の福祉の増進を図ることを目的としています。今回の代替案の3つの施策は、本事業の目的に直接資するものだと考えており、より高齢者の生きがい、社会参加の促進につなげたいと考えています。 生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。
21	70代	実施ははじめから、見直して、年齢があがり、10000円から7000円に引き下げについては、反対。通院がふえ交通費も値上げされ、ますます必要になってます。高齢者が元気に過ごすことが、市政にとっていいことだと思います。財政難を理由にせず利用しやすく、市民の命と生活を守るために、再度検討して下さい。		カードの利用しにくい方がいます。配慮しなければならぬ方達への工夫や、情報が伝わりにくい方にきめ細やかな福祉に心がけてほしい		本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 個別の事情に応じて、シルバー人材センターやケアマネジャーなどと連携し、カードの代理購入やチャージの支援など、必要なサポートが提供できるよう対応策を検討してまいります。
22	70代	金額について生きいきクーポンが発行されたのは、高齢者がなるべく外に出て行って、外との交流を持つようにとの考えからでは 今、物価高騰、交通費の値上げで苦しい生活・・・ 金額を下げないでほしいです。		チャージしたカードで買い物が出来る店を増やしてほしい。		本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 多くの交通系ICカードは、コンビニやスーパー、ドラッグストアでの買い物、駐車場、駐輪場の利用料金の支払いなど幅広い用途で使えます。

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
23	80代以上	生きいきクーポン券の1万円の補助はありがたいと思っていました。年をとり、足をけがし、歩くのが不自由になり交通費の利用額が多くなり(免許返納してクルマを使われなくなり)電車利用が多くて交通費の高額に困っています。	1万円でも役に立っていますが減額となったら...			本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。
24	70代	現在マイカーですがこの先病気返納するようになれば補助は必要。			業者に任せていた清掃、草刈などを地域の老人会にしてもらい地域の交流を促す。(お茶、お茶菓子等用意して)地域農園の育成、販売をして資金作りで活動費を	また今回の見直しによる財源で、免許返納促進につながる事業を含め検討していく予定です。 生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。
25	60代	年額7千円への減額に反対です。この意見募集の前文に「見直し案について、見直し後の運用や生きいきクーポン以外の支援施策の参考とするために」とあり、減額が前提になっていることが大問題です。アンケート結果を見ると「全額利用している」が95.7%となっており、有効に活用されていることが分かります。電車、バス、タクシーに使っている人がほとんどで、高齢者の外出に役立っています。高齢者のフレイルや認知症予防に、外出・社会参加が有効であることが、明らかになっています。介護費の抑制にもつながり、何より高齢者の生き生きした暮らしを支えています。アンケートの設問3の回答では全体の52%、70代の65.8%、80代以上の71.8%が「継続すべきである」と回答しています。これを尊重し、減額ではなく、継続すべきです。また、ICカードに一本化する件については、設問2の(7)使用する上での課題への回答で「交通系ICカードをチャージできるところが少ない」が26.1%(121件)で第2位です。コンビニまで行くのが困難な人もいます。従来のクーポン券も選択肢として残すべきと考えます。なお、他の支援策の充実は重要ですが、財源を生きいきクーポンの減額による差額に求めるのは間違っています。切り離して検討してください。			生きいきクーポンを今まで通りに継続した上で、他の施策も充実させ、高齢者になっても安心して暮らせる生駒市を目指して下さい。	本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 クーポン券方式は印刷や郵送、換金経費などの事務費が増大する要因となっているため、ICカードへのチャージ方式へ統一することを検討しています。また、多くの交通系ICカードは、コンビニやスーパー、ドラッグストアでの買い物、駐車場、駐輪場の利用料金の支払いなど幅広い用途で使えます。
26	50代	・対象年齢は70歳以下にしてほしい。 ・金額は下げないでほしい。 ・給付方法は今までのクーポン券交付方式も残してほしい。ICチャージ併用は無理ですか？ ・将来にわたり、この生きいきクーポン券制度、高齢者支援制度を残してほしい。		・全対象者がICチャージ方式では困る。 ・金額減り、物価高い現状に合わない、不足している。 ・対象年齢が上がっているのに、この先も上がっていくのではと不満、不安が残る。	・公営住宅の拡充を望みます。低所得者向けや収入あっても一人暮らしや要介護者いる世帯向けの住宅を確保してほしい。 ・介護や保育師などケアワーカーの所遇改善と人員増できるよう国に強く要望してほしいです。	本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。 今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。 クーポン券方式は印刷や郵送、換金経費などの事務費が増大する要因となっているため、ICカードへのチャージ方式へ統一することを検討しています。また、多くの交通系ICカードは、コンビニやスーパー、ドラッグストアでの買い物、駐車場、駐輪場の利用料金の支払いなど幅広い用途で使えます。 生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。
27	80代以上	交付金額が減るのは大へん残念だが、他の施策がほんとうにやられるなら(予算もつけて)それもよいと思う。	経費削減されるのは評価できる。	ICカードにチャージするのが困難な人への配慮必要。		個別の事情に応じて、シルバー人材センターやケアマネジャーなどと連携し、カードの代理購入やチャージの支援など、必要なサポートが提供できるよう対応策を検討してまいります。

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
28	60代	交通費を助成するなら、高齢者ドライバーの免許返納を促進すること、地域の公共交通機関の助成の方がいいと思う。あとは体操教室等、運動する機会を増やすために助成をした方がいいと思う。	事務費が削減できたこと	マイナンバーカードで本人確認ができてか助成してほしい。本人以外の人でも使える方法だと思う。	高齢者が元気で楽しく生活できるような支援は必要だと思う。元気な人には有償ボランティアで学校内の清掃、環境整備、行事のお手伝いなどをしてもらえればいいと思う。有償にした方が責任も持てるしやりがいも感じられると思うので。	交通費助成としての個人給付とともに、下記の事業を実施し、より一層本事業の目的である高齢者の方の生きがいや社会参加の促進を図ります。 ・健康増進、介護予防 ・認知症施策、身寄りのない方の支援 ・地域公共交通維持 ご指摘のとおり、免許返納促進や公共交通維持、体操教室など健康増進や介護予防につながる取組みを検討していく予定です。
29	30代	とてもいいと思います。	事業費がかなり減るのでいいと思いました。	今回の改正で、免許返納を先延ばしにする高齢者が増えたら嫌だと思いました。先日も生駒市内で高齢運転手の事故があったので。		今回の見直しによる財源で、免許返納促進につながる事業を含め検討していく予定です。
30	60代	市民アンケート結果に健康ポイントについて、記載がないのにクーポン減額分のお金をそこに使うってなぜなのでしょう。	個人的には廃止すべきだと思っています。しかし、継続を望む声が多かったので、市民の意向を受けていると感じました。	クーポンの減額と交通系カードへのチャージのみに変更することとは、別々な内容だと思います。 障がい者への給付についてふれられていませんが、アンケートはしなかったのでしょうか。障がい者の意見は不用だということでしょうか。	生きいきクーポン減額の意見募集なのに、上記のような関係のない内容の調査をやって、記入した意見より、数の多さ[グラフ]を見せてごまかす意見募集に見えます。前のページの個別意見を重要視してほしいです。	障がい者の方々への給付額は10,000円のまま維持する予定です。交付方法は交通系ICカードに統一します。 健康ポイントの導入により、行動変容の促進と健康への関心の向上が見込まれ、アンケートの設問4(3)健康・生きがい施策のなかで重要な施策として選択された方が多かった「健康診断や各種検診の受診率向上」や「フレイル予防施策の推進」につながるものと考えています。また、健康ポイントの利点のひとつとしては、他の事業やサービスへ展開していける拡張性も挙げられます。導入の際には、出来るだけ分かりやすい仕様となるよう検討します。
31	30代	障害者への個人給付も交通系ICカードへのチャージとなり、金額も減ってしまうのか？隔週で病院に通わないといけなため、金額は減らないでほしい。	事務費が圧縮されたのが素晴らしいと思う。	高齢者の免許返納を促進するため、免許返納者もしくは免許を取得したことがない人のみ限定すべきではないか？		障がい者の方々への給付額は10,000円のまま維持する予定です。交付方法は交通系ICカードに統一します。 また今回の見直しによる財源で、免許返納促進につながる事業を含め検討していく予定です。
32	60代	中途半端な補助額の削減より、いっそのことやめてしまっはどうですか。イコカ等のチャージでは、交通費よりも、日常の買い物代の支援になってしまいます。そして、代替え案にアプリのポイントの付与はやめてほしい。アプリ作成に貴重な財源は使わないでほしい。	やっと現状を改善しようと立ち上がったこと。	(1)に書きました		市民アンケートの結果で、回答者の52.0%が制度の継続を望んでいることから、事業の廃止は影響が大きいと考えます。一方で、回答者の20.9%は減額しても継続すべき、22.9%は廃止すべきと現行制度の見直しを求めていることを受け止め、事務費の軽減を行い、持続可能な制度とすることを念頭に見直し案の検討を行いました。今回の見直しによる財源で、本制度の目的である生きがいづくりや社会参加促進に直接資する事業に充てていきたいと考えています。 健康ポイントの導入により、行動変容の促進と健康への関心の向上が見込まれ、アンケートの設問4(3)健康・生きがい施策のなかで重要な施策として選択された方が多かった「健康診断や各種検診の受診率向上」や「フレイル予防施策の推進」につながるものと考えています。また、健康ポイントの利点のひとつとしては、他の事業やサービスへ展開していける拡張性も挙げられます。導入の際には、出来るだけ分かりやすい仕様となるよう検討します。

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
33	70代	高齢者に対する生き生きクーポンは、廃止するべきだと思う 交通費にチャージをしても出かける事は、あまり無い 生駒市内で、買い物や病院などは、車に乗って出かける方が多い 個人に郵送するのも時間と費用がかかります 思い切ってやめて、その分若い人や子供達が生駒市でよりよく住める街に使って欲しい	何もありません	最近の高齢者は、元気です 子育て世代を応援してほしい 物価高で、困っているのは、若い世代です	なるべく病院に行く事の無いように、日頃の体調管理に気をつけて、薬局の薬やサプリを利用する 広報誌で健康に関する記事を掲載して高齢者に見てほしい	<p>市民アンケートの結果で、回答者の52.0%が制度の継続を望んでいることから、事業の廃止は影響が大きいと考えます。一方で、回答者の20.9%は減額しても継続すべき、22.9%は廃止すべきと現行制度の見直しを求めていることを受け止め、事務費の軽減を行い、持続可能な制度とすることを念頭に見直し案の検討を行いました。今回の見直しによる財源で、本制度の目的である生きがいづくりや社会参加促進に直接資する事業に充てていきたいと考えています。</p> <p>また、今回はあくまで高齢者施策である交通費等助成事業の枠内での見直しを行う予定です。高齢者の健康増進・介護予防による将来的な社会保障費の抑制、地域公共交通の維持によって高齢者以外にも恩恵があると考えています。</p> <p>生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。</p>

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
34	80代以上	<p>1. アンケートの結果は「交通費助成事業」を全体として継続することを、特に当事者の高齢者層の回答はその必要性(交通費助成制度の継続)を切実に求めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・生きいきクーポン券の用途は電車、タクシー、バスが多く・目的は買い物、医療機関への通院など、切実な日常の課題で利用しており・役立ち感では「交通費等生活費の負担軽減」との回答が圧倒的に多い <p>回答の特徴は、本来の交通助成の目的に沿っており、同時に医療や買い物など切実な生活上の利用が中心で、使い残しは無く、この制度の目的「高齢者の生きがい支援、及び社会参加の促進」や外出権、生活を豊かにする保障にまで至っていないことを示している。</p> <p>2. 高齢者の現状は厳しくなっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・年齢が高くなるにつれて体力の衰え、フレイル、病気(しかもいくつかの病院通いや入院)などによって、電車で外出していた人がタクシーでしか外出ができなくなって経済的負担が増えている。・一人暮らしの場合、1週間も2週間も誰とも話をしていないといった例を聞く。また、別に暮らす息子や娘が親の安全や健康を心配して、外出を制限し、結果として社会的交流の機会を失っている例も見られる。・電車やバス、タクシーの運賃が大幅に値上がりして、助成の1万円も数年前に比べ、使える比重は下がっている。私の場合、体調が悪く、生駒駅前病院へタクシー利用して往復4千円近くかかるようになった。・免許返納によって、外出の機会を制限せざるを得ない状況が増えている。・生駒市は特に坂が多く、駅や商業施設から遠い住宅の場合、杖をつき、重い買い物袋を持って、途中で腰を下ろし、何度も休みながらゆっくり歩いている高齢者をよく見かける。日常的な負担は大きい。・公共交通機関の運行本数が減り、待ち時間や乗り換えにかかる時間が増え、疲労感を増している。駅に階段しかない場合、不安が大きい。駅のトイレ、和式しかない場合、使いづらい。・バス路線について<ul style="list-style-type: none">路線を減らすことがないように停留所に屋根がほしい。・道路の問題について<ul style="list-style-type: none">狭い道路、急坂も多く、歩行者は車が通ると危険に感じるが多い。 <p>そんな道路の舗装がカマボコ型で路肩を歩くと体が外に振られる。舗装が何度も重ねられている場合、路肩が段差になっている場合があり、バランスを崩すことがある。市はウォーキングコースを多く発表しているが、周りに不安が無く、歩行訓練出来るようなコースも必要ではないか。(竜田川畔、南コミセンの北のあたりで「ベンチもあれば」の声を聞いた)</p> <ul style="list-style-type: none">・公園にトイレがあるところがすくない。・年金の長期下落、そこから天引きされる医療保険、介護保険料はアップ、後期高齢者医療制度への支援制度もこの10月で打ち切り。その上、物価の高騰が継続し、高齢者の暮らしは厳しさを増すばかり。特に女性の年金は制度的問題、現役世代の賃金の男女間格差などによって、一層苦しい生活を余儀なくされている。女性の一人暮らしが男性に比べて多い現実からも配慮が必要である。主人に早く先立たれた80歳前の女性は「買い物に行くのが怖い。年金20万円に届かず働きに行かねばと考えている」と深刻に話された。<p>3. 法や自治体の方針から考えて</p><p>憲法25条、老人福祉法、生駒市高齢者医療・介護保険についての方針、日本高齢者人権宣言などの理念は、国や地方自治体が高齢者の暮らしを守り、医療や福祉の保障を通して、その人らしく、地域で豊かに暮らしていくことを保障している。しかし、この問題を含む現実は、その理念から乖離しているのではないか。</p><p>交通費助成との関係では、私たちは「交通権」について学習してきた。</p><ul style="list-style-type: none">・愛知大学 可児紀夫先生は「コロナ禍で人と人との交流(＝交通)は生きていく上で大変重要であることを教えてくれた。交通は基本的人権であることを認識し、そのための地域交通のあり方について話し合おう。誰でもいつでも快適、便利、低廉に活用できる交通政策を」と述べている。・日本高齢者人権宣言の「Ⅲ、高齢者に保障される人権」の18項には「交通権、移動の自由、建物へのアクセス権」が設定され「高齢者には、交通権と移動の自由があります。道路、交通機関、施設・建物、サービスは高齢者の固有のニーズに配慮して、実際に利用しやすいものでなければなりません」と述べている。<p>4. 生駒市の案について</p><ul style="list-style-type: none">・以上、アンケートの結果からも、高齢者の置かれている厳しい状況からも減額の理由は見つからない。少なくとも現1万円の助成は維持すべきである。・また今回の問題は「交通費等助成」であり、新提案の3つの課題は介護保険の課題であったり、バリアフリーの課題であったり、それぞれの課題として充実すべき性格のものである。<p>上記「2. 高齢者の置かれている状況は厳しくなっている」で思いつく範囲であげた内容からも特段の努力を期待したい。</p>		<p>1. 上記「4. 生駒市の案について」の内容。</p> <p>2. 「高齢者の現状は厳しくなっている」項の指摘内容。</p>		<p>本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。</p> <p>今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>「生きいきクーポン券交付事業」は高齢者の生きがいづくり支援、社会参加の促進及び要介護者の福祉の増進を図ることを目的としています。今回の代替案の3つの施策は、本事業の目的に直接資するものだと考えており、より高齢者の生きがい、社会参加の促進につなげたいと考えています。</p> <p>生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。</p>

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]]	市の考え方
		[[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]]	[[(2)評価できる点について教えてください。]]	[[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]]		
35	70代	<p>A.見直し案の内容周知が不十分です。</p> <p>* 示されていること</p> <p>①給付金額は現行の1万から減額した7千円</p> <p>②給付方法はATMで所持する交通系ICへのチャージ方式</p> <p>③対象年齢は、現制度時の70歳から2年毎に繰り上げ到達する75歳以上</p> <p>* 示されていないこと</p> <p>イ. どの交通系ICがチャージで使えるのか (例:ICOCAはOKか、PiTaPaはダメなのか? バスのCICAは?)</p> <p>ロ. 現在の利用できる市営駐車場、市のコミセンなどの施設使用料、市の企画興業事業のチケット購入などはどのように利用できるのでしょうか? 又はできないのでしょうか? 出来ない場合、その代替施策は?</p> <p>ハ. 当初の制度からの現在のクーポン券制度への見直し時に、交通費助成制度を利用しにくい高齢者(介護度高い高齢者など)が利用しやすくなると導入された「介護用品の購入」はどのように利用できるのでしょうか? 又はできないのでしょうか? 出来ない場合、その代替施策は?</p> <p>B.意見募集期間が1ヵ月、短すぎます。</p> <p>市民の意見を参考に汲み取ろうとするのなら、数ヶ月、少なくとも3ヶ月程度の期間でおこなっていただきたい。</p> <p>C.なぜ今年の12月に見直し案を決定するのですか? 決定する必要があるのでしょうか?</p> <p>・当初の制度を見直して現制度のいきいきクーポン券制度とすると、支給金額「1万5千円から1万円に」は、現制度施行の年度から直ちに実施。</p> <p>・対象年齢は、2年毎に1歳ずつ繰り上げて、最終75歳以上からに。来年度(R8年度)に75歳以上に到達。よって、今年度すぐ見直して決定する。施行は、現制度施行の対象年齢繰り上げ完了時以後のR10年度からとなっているものと思われます。</p> <p>・見直し案による施行時期がR10年度からなら、尚更、見直し案作成・決定が今年の12月なののでしょうか?</p> <p>* 見直し案の策定・決定は、充分期日をかけて、検討し、市民の意見を汲んで行なうことが必要と考えます。来年度R8年度中をかけて、検討し、見直し案を決定すべきではないでしょうか。</p> <p>D.給付額の現制度の1万円は維持していただきたい。</p> <p>・現制度発足時の金額価値やここ数年の物価高騰などから、給付額の減額は理由がないように思われます。現制度への見直し時の高齢人口が増大する、事業費が膨張するの観点から、給付額1万5千円から1万円に対象年齢を漸次75歳以上に繰り上げを行う制度に見直したうえに、更に事業費を抑えとの観点なら予算の配分に問題であり、観点を改めて検討していただきたい。</p> <p>E.意見書の募集様式1ページ及び2ページ「見直し案」「事業費イメージ」「その他の支援施策」の記述の意味が良く理解できません。</p> <p>* 給付額を減額し(事務経費節減)で「その他の支援施策」を行なうという意味でしょうか?</p> <p>・「その他の支援施策」はそれぞれで拡充や創設などを検討すべきものです。</p> <p>「その他の支援施策」を示すことで、給付減額する根拠にならない事は自明です。まして、減額費用で具体的な創設施策をと示されておらず、尚更、減額の適正、正当化事由にはなりません。</p>	<p>・現行制度の事務経費を削減できないかとの見直し観点は良いと思われます。(直ちに分かるのは、現行制度によるクーポンの印刷経費、クーポンを送付することによる郵便経費の増加と思われます)</p> <p>但し、給付方法が交通系ICへのチャージだけで良いのか疑問です。</p> <p>・現制度で利用できる、市営駐車場、市のコミセンなどの施設利用、介護用品の購入などはどうなるのでしょうか? 利用出来なかったり、その場合の代替施策が見直し案に示されていないと評価出来ません。マイナス評価です。</p> <p>* クーポン券作成等の経費節減措置のみで考えると</p> <p>・受給者が受給を受ける対象の措置を選び、利用する(申請する)。</p> <p>①交通利用者は、見直し案のような交通系ICチャージで。</p> <p>②現在の市の施設利用や介護用品購入などは、それぞれで利用できる制度を検討する。</p> <p>例:それぞれで利用出来る、利用券的な物を交付するなど</p> <p>・現制度の事務経費が当初の制度(クーポン発行しない)より増大しているのは、対象者全員にクーポンを配布するための印刷費と郵送費ではないでしょうか。</p> <p>・クーポン券を全員への送付する制度を改める。受給者が、利用する給付措置を選択する。利用給付措置毎に利用方法(給付)方法を定める。 上記記述の再掲</p> <p>見直し案はクーポン券発行しない案ですが、現行制度での交通そのものの以外の利用者にはどうなるのでしょうか?</p>	<p>・現行制度で給付を受けて利用している高齢者が引き続き利用できる制度の見直しであってほしいです。見直し案で、現制度で利用出来た給付が利用出来ない場合は、その代替措置を創設してください。</p>	<p>高齢者施策も色々なものがり、要望なども多くて取り上げるのも、担当者は、大変で、ご苦労おかけしますがよろしく願いします。(特にかぎられた予算では、特に)ただ、高齢者社会といわれ、入ってきています。だから、高齢者対策費用は増大するものとの観点での施策をお願いします。高齢者化が進む、経費が増大する。だから見直す(削る、減額する)のみの観点では、取組まないようにお願いします。</p> <p>意見募集期間の設定につきましては、パブリックコメント手続条例に準拠し、実施しております。</p> <p>前回、制度を見直した際に、対象年齢を70歳から75歳まで2年おきに1歳ずつ引き上げることとした。対象年齢が上がった年度は、前年度と対象者が同じになり、令和8年度はそれに該当するため、令和7年度で73歳の方々は対象外のままとなります。令和9年度まで実施し、現在73歳の方々が75歳になったときに受け取れるよう、当初の予定どおり事業を実施したいと考えております。また交通系ICカードへのチャージによる給付になり、カードをお持ちでない方もおられると考えますので、見直し案の実施までに十分な期間をとって、カードの取得等準備をいただくために事前に周知させていただくものです。</p> <p>本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。</p> <p>今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる介護予防や健康増進、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。</p>	

No	年齢	生きいきクーポン券交付事業の見直し案について、ご意見を伺います。			[(7)これまでの設問で伺った施策やその他の高齢者施策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。]	市の考え方
		[(1)見直し案についてのご意見をご自由にお書きください。]	[(2)評価できる点について教えてください。]	[(3)改善・配慮が必要だと思われる点について教えてください。]		
36	団体	<p>(1)見直しについての生駒市の広報について</p> <ul style="list-style-type: none">* 簡単すぎて、見落とす可能性がありました。市案がどこで手に入るかも示されていませんでした。* 意見聴取の期間は発表から1か月で短かすぎます。期間後の個人、団体からの意見も尊重してください。 <p>(2)この問題についての基本的見解</p> <ul style="list-style-type: none">* 高齢者が置かれている現状は厳しく、市の事前のアンケートからも減額の理由は見つかりません。少なくとも現状の1万円は維持することが必要です。* 市案は減額と事務的経費が削減されて生じた金額を他の高齢者対策に充てるとしていますが、介護保険制度、バリアフリー、その他の分野で解決すべき課題であり、意図が不十分なものもあります。交通費助成を減額して、これらに充てるのは筋が通らず、多くの個人からの指摘にもあるように、独自課題として充実した施策を求めます。 <p>(3)基本的見解に至った理由</p> <ul style="list-style-type: none">* 「失われた30年」は現役の労働者だけの問題ではなく、高齢者も「マクロ経済スライド」などのかたちで、収入の基本が長期にわたって減額され、暮らしに深刻な影響を与えています。* 加齢による衰えは避けることができません。外出の支援があつてこそ生活が成り立っています。* 医療、介護制度の後退によっても暮らしに影響をうけています。保険料アップは年金からの天引きであり、年金支払いの段階から収入減につながっています。* 物価の高騰は止まる気配もなく、同じ金額の価値を低めています。電車、バス、タクシーなど軒並み値上がりし、通院、買い物などへの不安も広がっています。* 生駒市の坂の多い地形が高齢者の外出を阻む要素にもなっています。* 住まいの近くの店が無くなり、買い物がしにくくなっている地域が増えています。買い物は日常、欠かすことのできない行為であり、負担が大きくなっています。* 地域交通は日曜日運行、コースなど様々な問題を含んでいます。地域独自の意見を十分に把握して充実していただきたい。* 憲法25条をはじめ、老人福祉法、高齢者人権宣言、市の医療・介護保険第9期計画などは、高齢者が地域でその人らしくゆたかに暮らすことを保障すると謳っています。「交通権」の保障もその一つです。それらの理念と現状の施策は乖離が進んでいます。 <p>(4)個人で提出された意見は具体的な現状を反映しており、(3)項の裏付けであり、市への問題提起ともなっています。充分尊重して頂くようお願いします。</p>				<p>広報につきまして、紙面のスペースが限られているため、情報の一部の記載になっております。また意見募集期間の設定につきましては、パブリックコメント手続条例に準拠し、実施しております。</p> <p>本市の財政状況は、社会保障経費の増大により年々厳しさを増しており、将来にわたって安定的に制度を継続するためには見直しが避けられないと考えています。</p> <p>今回見直しを行うことで、個人への一律給付額は減額となりますが、その財源を活用して、より多くの高齢者が恩恵を受けられる健康増進や介護予防、地域公共交通維持といった施策を充実させることで、総合的に高齢者福祉の向上を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>生きいきクーポン券交付事業以外に対していただいたご意見につきましては、担当部署に共有させていただきます。</p>

※貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。 いただきましたご意見は、施策検討の際の参考にさせていただきます。